

(2) 配水池の能力

上水道事業における配水池の整備状況を見ると、令和元年度末は、配水池総数 820 池、総有効容量 2,357 千 m^3 である。(表-6)

配水池貯留能力は、給水に対する安定性を示す指標の一つであり、令和元年度末は、0.80 日である。

表-6 配水池容量（上水道）

区 分	池 数 (池)	有 効 容 量 (千 m^3)	配水池貯留能力 (日) ※
大 阪 市	52	666	0.60
大阪市を除く市町村	768	1,691	0.91
府 計	820	2,357	0.80

※配水池貯留能力 (日) = 有効容量 (m^3) / 一日平均配水量 (m^3 /日)

(3) 配水管

令和元年度末における上水道事業の配水管総延長は 23,310.0 kmであり、配水管容量は 937 千 m^3 で、平成 30 年度末に比べ総延長で 0.4%の増加となり、配水管容量では 0.3%の増加となっている。(表-7)

表-7 配水管延長と容量（上水道）

区 分	配水管延長 (m)	配水管容量 (m^3)	現在給水人口 1人当り容量 (L)	給水可能面積 1ha当り容量 (L)
大 阪 市	5,129,126	471,329	172	20,920
大阪市を除く市町村	18,180,913	465,558	77	4,232
府 計	23,310,039	936,887	106	7,069